

# 令和4年度サイエンス・ファイト作品紹介

学 校 諫 早 市 立 長 田 小 学 校

学 年 2年

氏 名 藤 岡 美 雨

タイトル ショウリョウバッタのオスメスの  
ちがいて何？

## 概 要

カマキリを観察していたとき、オスは軽くて飛べるけど、メスは羽があって重そうで飛べないことに気づきました。では、よく見つけるショウリョウバッタにはオスメスで違いがあるのかと思い、本で調べて、観察して調べることにしました。

成虫のメス (体長75mm)

## ショウリョウバッタのオス・メスのちがいは何？

諫早市立長田小学校 2年  
藤岡 美雨



### 調べるきっかけ

私は虫を観察するのが大好きで、カマキリを観察していたとき、オスは軽くて飛べるけど、メスは羽があって重そうで飛べないことに気づきました。

では、よく見つけるショウリョウバッタにはオスメスで違いがあるのかと思って、調べることにしました。

↑の“みどりちゃん”は、7/23から8/9までしゅうした。  
7/25と8/5にだっぴして、成虫になったときの写真。  
いちどにがしたけど、とばずに葉っぱの上にジッと  
していた。

＜参考にしたもの＞

- ・ こん虫のかいかたをたてたさしはさるゆか(いりせい)
- ・ 虫をとる・虫をかうひょう本をつくるゆか(いりせい)
- ・ こん虫をそたひょうしらべよう(かいかた)おかしまひてはる(いりせい)
- ・ こん虫をそたひょうしらべよう (かいかた)おかしまひてはる (〇)
- ・ こん虫をそたひょうしらべよう (体のつくり)おかしまひてはる (〇)
- ・ こん虫をそたひょうしらべよう (すみか) おかしまひてはる (〇)
- ・ いきものすみかおかしまひてはる(いりせい)
- ・ 虫のかいかたかんさつのかかた④ きんしの虫のかいかた(〇)
- ・ へすずみシ、バッタ、カマキリ(かかん)うみのかか(いりせい)
- ・ 虫のオスとメス、見分けられますか? もりうえの(いりせい)
- ・ 小学かんのすみか NEO こん虫 (いりせい)

## 調べた結果の予想



メスはオスをおんぶするから、オスとメスでは大きさがちがうと思う。そして、セミやカブトムシといったほかのこん虫のようにおしりの形がちがうと思う。

## 用意

## 用意したもの

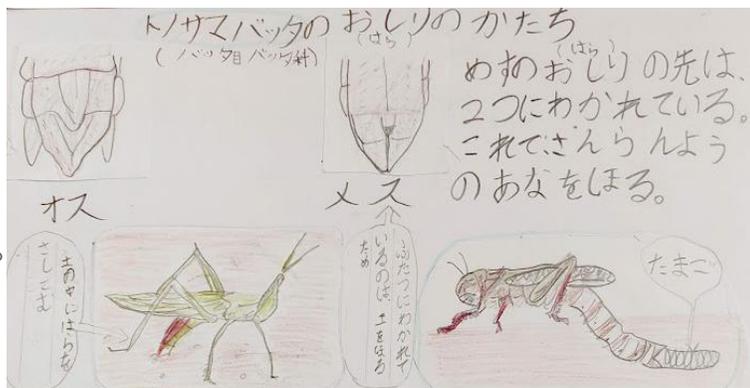
- 虫取りあみ
- 飼育ケース
- きりふき
- 土
- 観察ノート
- 草を入れるビン
- メジャー
- 土を入れるビン
- イネ科の草
- 飼育ケース用シート



## 調べる

### ①本を読んで、オスメスの違いを調べる。

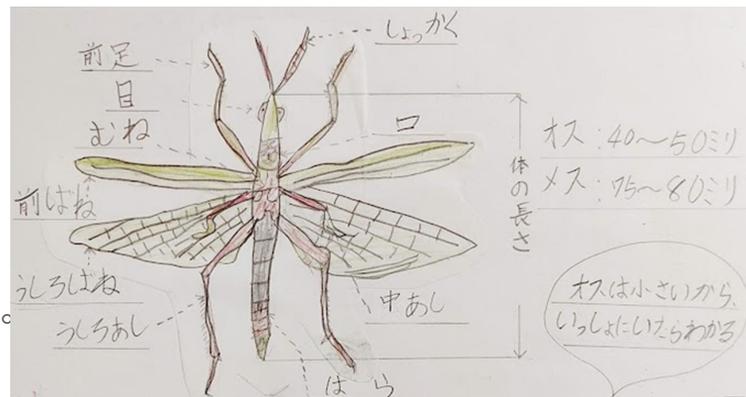
<はらの先> 同じバッタ目バッタ科のトノサマバッタでは、はらの先にちがいがあって、メスは、たまごを土に穴をほって生みやすいように、先が二つに分かれていることがわかった。ショウリョウバッタについてはどの本にも書かれていなかったけど、同じバッタのなかまなので、メスのはらの先は分かっていると思う。



<もよう> メスの成虫には、体のたてに白黒のすじが入るものもあることがわかった。

<音> 成虫のオスは、飛ぶときに羽を打ち合わせて“キチキチ”と音を出す。他もバッタ目のスズムシ、マツムシ、コオロギやキリギリスも音を出すのはオスだけとわかった。

<体の大きさ> 成虫のオスは、メスより小さい。おんぶしているのがいたら、せなかの上の小さいのがオスで、下がメスとわかった。トノサマバッタなどのバッタのなかまもオスをおんぶすることがわかった。



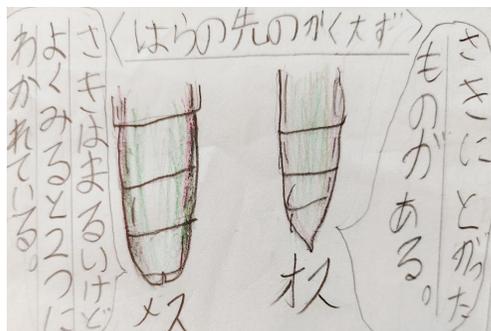
調べる

②つかまえて調べる。

つかまえて、①はらの先、②体の大きさ、③音、④もようをしらべて、オスメスのくべつをつけてた。

7/21から8/28に、20ひきのバッタをかんさつした (2.のバッタは20日間しよくして、3回かんさつきろくした)。

<はらの先>まるいのと、とがったのがいた。



<体の大きさ>成虫 (はねがある) のメスは70~80ミリ。オスは40~50ミリでメスのほうが大きい。

<音>とぶとき、キチキチと音を出すのがオス。

<もよう>体にスジやゴマがあるのもいたけど、メスオスのかんけいは、なかった。

チェック表 No.	7/21	7/23	7/23	7/25	8/5	8/8	8/10	8/17	8/19	8/21	8/21	8/22
<はらの先>	?	まるい	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√
<体の大きさ> mm	40	55	45	60	75	70	52	20	75	40	50	45
<音>	ない	ない	キチキチ	ない	ない	ない	キチキチ	ない	ない	キチキチ	キチキチ	キチキチ
<もよう>	なし	なし	なし	なし	すじ	なし	すじ	なし	すじ	なし	なし	なし
(オス?・メス?)	?	メス	オス	メス	メス	メス	オス	オス	メス	オス	オス	オス
(せい虫?・よう虫?)	よ虫	よ虫	よ虫	よ虫	せい虫	せい虫	せい虫	よ虫	せい虫	せい虫	せい虫	せい虫

チェック表 No.	8/22	8/23	8/23	8/24	8/24	8/25	8/26	8/26	8/27	8/28	8/28	8/28
<はらの先>	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√	√
<体の大きさ> mm	45	70	50	45	50	45	40	50	34	75	80	40
<音>	キチキチ	ない	キチキチ	キチキチ	キチキチ	ない	ない	か	ない	なし	なし	なし
<もよう>	なし	なし	なし	すじ	すじ	なし	ゴマ	なし	なし	なし	なし	なし
(オス?・メス?)	オス	メス	オス	オス	オス	オス	メス	オス	メス	メス	メス	オス
(せい虫?・よう虫?)	せい虫											

\*オング \*オング ミツハネコウリキ

## 調べる

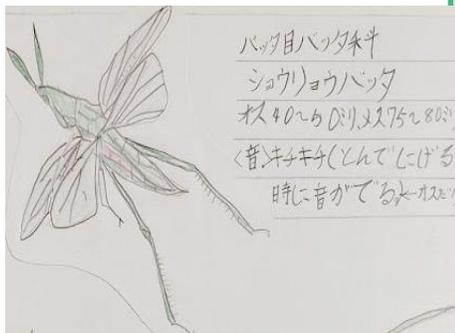
## ②のつづき



黒い部分はメスにしかない。ものすごくかたかった。理由は、さんらんするときに、土をほりやすくするため。



こんな形で、メスは、土に、2, 3ミリのあなをほる。



左)メス80mm  
右)オス40mm

オスとメスが、おなかどおしくっつけているところをつかまえてかんさつした。かんさつのおとに、葉の上においてもずっとくっついたままだった。オスのはらの先が“し”の字にまがって、メスのはらの中に引っかかっているみたいだった。メスからふりおとされないようにしっかりとしがみついていた。



かんさつになれたら、メスのはらの先が二つに分かれているのがわかった！せい虫のメスのはらは、ふっくらしているからわかりやすい。はらのまん中はきみどりで、はしはピンク色。

## まとめ

## わかったこと

オスメスで違いがあることがわかった。

<はらの先> まるくて二つに分かれているのがメス。成虫になると大きくふくらんでるけど、よう虫のときはわかりにくい。

<体の大きさ> じっさいにはかってみると成虫のメスは70〜80ミリ。オスは40〜50ミリ。メスのほうが大きい。せなかにおんぶしている小さいほうがオス。

<音> とぶとき、キチキチと音を出すのがオス。とぶのは羽がある成虫だけだから、よう虫はおとがしない。

<もよう> せい虫には、スジやゴマがあるのもいたけど、メスオスのかんけいは、なかった。

## 感想

このけんきゅうをして、ショウリョウバッタのよう虫でも、オスメスを見分けることができるようになった。本にはトノサマバッタのことばかりたくさん書かれてあって、ショウリョウバッタについては、体の大きさや食べるものについていがない、くわしく書いているものがあまりなく、てしらべるのがむずかしかった。このけんきゅうでショウリョウバッタのことをいっぱい知れてよかったと思う。